

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第27週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (27週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：報告なし。  
4類感染症：報告なし。5類感染症：ウイルス性肝炎1例、梅毒1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
		延岡	70歳代	男	肺結核	痰
		小林	70歳代	男	肺結核	痰、発熱
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	20歳代	男	B型	全身倦怠感
	梅毒	宮崎市	40歳代	男	晩期顕症梅毒	神経症状、眼症状、精神症状

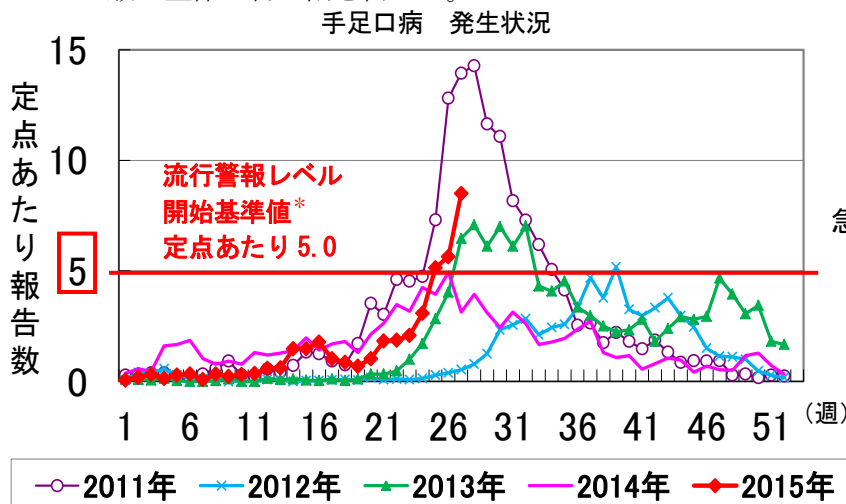
### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,026人(定点当たり32.3)で、前週比118%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患は水痘と手足口病で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎であった。

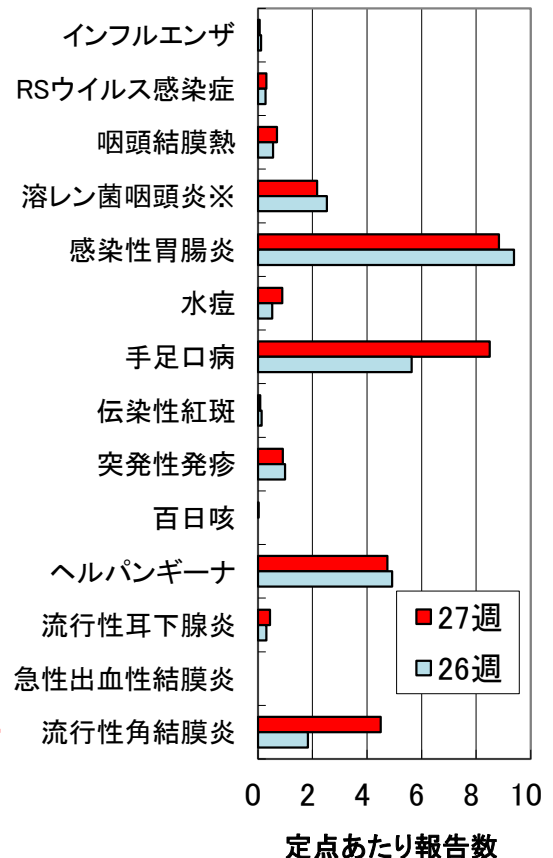
#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【手足口病】

・報告数は306人(8.5)で、前週比151%と増加した。流行警報レベル開始基準値\*を3週連続で超過した。例年同時期の定点あたり平均値\*\* (6.0)の約1.4倍と多い。中央(28.0)、小林(16.0)、延岡(11.8)保健所からの報告が多く、年齢別は1~2歳が全体の約6割を占めた。



### 《前週との比較》

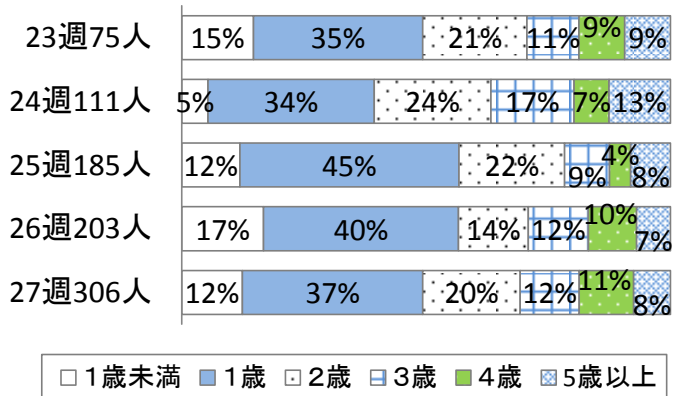


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

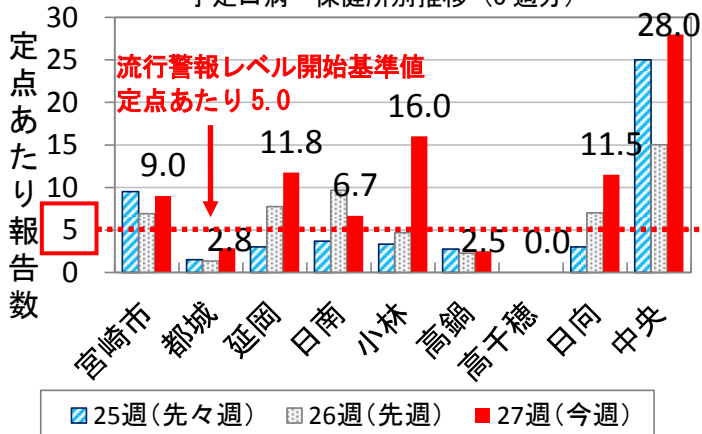
\*流行警報レベル開始基準値：過去5年間の流行状況(全国の定点を有する保健所数×5年間×52週)の中で、一連の警報発生の起こる確率が1%程度になるように定めたもの。(IDSCより)

\*\*宮崎県の過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値。

手足口病 年齢群別割合の推移 (5週分)



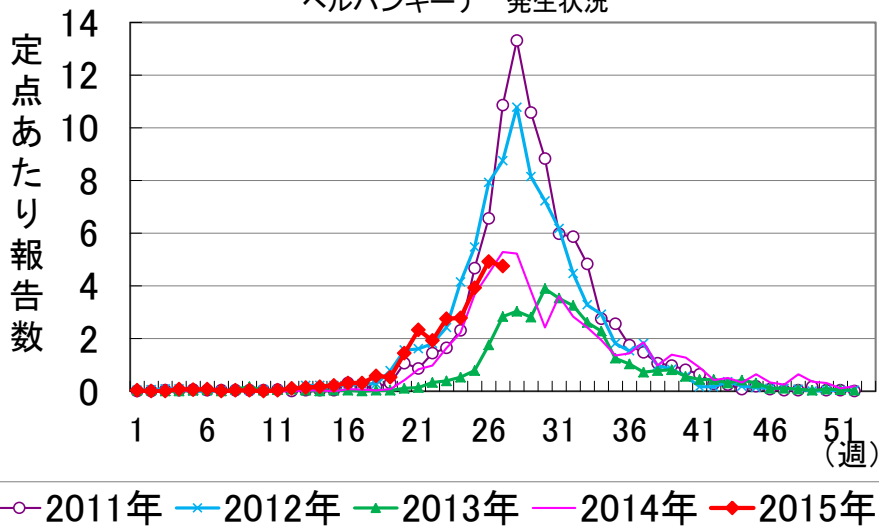
手足口病 保健所別推移 (3週分)



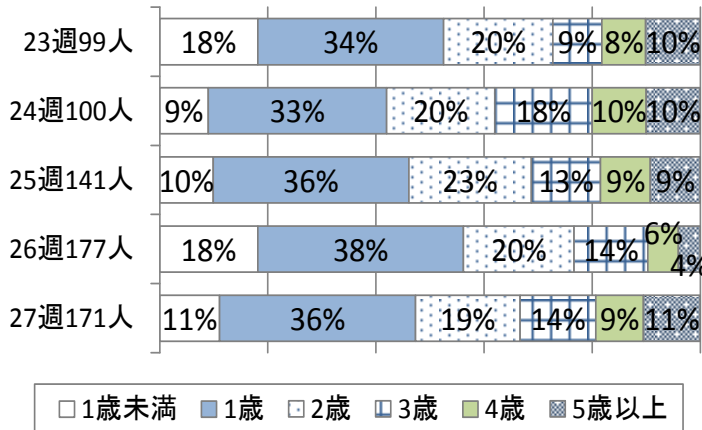
【ヘルパンギーナ】

・報告数は171人(4.8)で、前週比97%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値\*\* (6.2)の約0.8倍であった。日南(12.3)、中央(8.0)、延岡(7.8)保健所からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約6割を占めた。

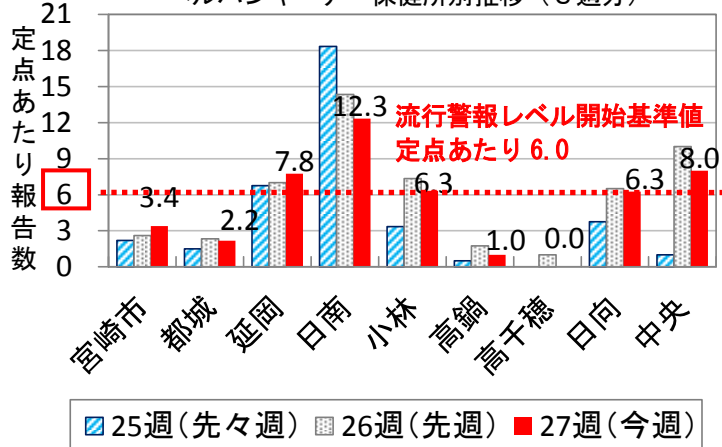
ヘルパンギーナ 発生状況



ヘルパンギーナ 年齢群別割合の推移 (5週分)



ヘルパンギーナ 保健所別推移 (3週分)



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(9.0)
都城	なし
延岡	手足口病(11.8)、ヘルパンギーナ(7.8)
日南	手足口病(6.7)、ヘルパンギーナ(12.3)
小林	手足口病(16.0)、ヘルパンギーナ(6.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	手足口病(11.5)、ヘルパンギーナ(6.3)
中央	手足口病(28.0)、ヘルパンギーナ(8.0)

\*流行警報レベル開始基準値\*

- ・手足口病(5.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎（ロタウイルス）：高鍋保健所管内で1例報告された。0～4歳で、病原体の群別不明。

📊 全国第26週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第26週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	406例				
3類感染症	細菌性赤痢	3例	腸管出血性大腸菌感染症	106例		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	6例	重症熱性血小板減少症候群	4例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	1例	デング熱	1例
	日本紅斑熱	3例	マラリア	1例	レジオネラ症	37例
5類感染症	アメーバ赤痢	15例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	14例
	急性脳炎	5例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7例
	後天性免疫不全症候群	20例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	17例
	水痘（入院例）	5例	梅毒	47例	播種性クリプトコックス症	2例
	破傷風	1例	風しん	2例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 106%とやや増加した。前週と比較して増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患は咽頭結膜熱と感染性胃腸炎であった。

手足口病の報告数は 14,379 人(4.6)で前週比 131%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\* (3.0) の約 1.5 倍と多い。徳島県(16.1)、香川県(14.3)、京都府(11.2)からの報告が多く、年齢別では 1～2 歳が全体の約半数を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 4,685 人(1.5)で前週比 135%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\* (2.4) の約 0.6 倍と少ない。愛媛県(6.4)、三重県(6.2)、福岡県(5.9)からの報告が多く、年齢別では 1～2 歳が全体の約半数を占めた。

## 宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第27週(6月29日～7月5日)

疾病名		第26週	第27週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	7	4		4							
	定点あたり	0.12	0.07	0.00	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	10	11		1						10	
	定点あたり	0.28	0.31	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	20	25	3	4	3	7		1		6	1
	定点あたり	0.56	0.69	0.30	0.67	0.75	2.33	0.00	0.25	0.00	1.50	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	91	78	20	4	21	18	3	5		5	2
	定点あたり	2.53	2.17	2.00	0.67	5.25	6.00	1.00	1.25	0.00	1.25	2.00
感染性胃腸炎	報告数	338	318	65	61	18	36	50	42	7	31	8
	定点あたり	9.39	8.83	6.50	10.17	4.50	12.00	16.67	10.50	7.00	7.75	8.00
水痘	報告数	19	32	6	3	5		6	6		4	2
	定点あたり	0.53	0.89	0.60	0.50	1.25	0.00	2.00	1.50	0.00	1.00	2.00
手足口病	報告数	203	306	90	17	47	20	48	10		46	28
	定点あたり	5.64	8.50	9.00	2.83	11.75	6.67	16.00	2.50	0.00	11.50	28.00
伝染性紅斑	報告数	5	3	1			2					
	定点あたり	0.14	0.08	0.10	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	36	33	10	5	6	6	2	1		3	
	定点あたり	1.00	0.92	1.00	0.83	1.50	2.00	0.67	0.25	0.00	0.75	0.00
百日咳	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	177	171	34	13	31	37	19	4		25	8
	定点あたり	4.92	4.75	3.40	2.17	7.75	12.33	6.33	1.00	0.00	6.25	8.00
流行性耳下腺炎	報告数	11	16	6	2	5		2	1			
	定点あたり	0.31	0.44	0.60	0.33	1.25	0.00	0.67	0.25	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	11	27	23		4						
	定点あたり	1.83	4.50	7.67	0.00	4.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		1						1			
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

## ●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～27週)

2類感染症	結核	107例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	9例				
4類感染症	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	4例	つつが虫病	3例
	日本紅斑熱	5例	マラリア	1例	レジオネラ症	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	5例(1)	急性脳炎	2例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	8例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	3例	水痘(入院例)	1例
	梅毒	4例(1)	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	5例

( )内は今週届出分、再掲